

汎用サーバ(sakura)でのウェブページ開設要領

■ 1. はじめに

ここでは、sakura のウェブサーバ利用に関する基本情報についてご説明します。

◆ 1.1. 基本情報

本マニュアルでは、次の約束事項を前提としてご説明します。

◎ホームディレクトリ(~/) : /home/ユーザ名

<参考 1> UNIX(シェル)上での特殊記号の意味

- ・スラッシュ(/)はディレクトリの区切りを意味します。
- ・チルダ[波線]記号(~/)は、自分のホームディレクトリを意味します。
- ・ピリオド1つ(. /)は、現在のディレクトリを意味します。
- ・ピリオド2つ(.. /)は、ひとつ上のディレクトリを意味します。

例えば、/home/自分のユーザ名/pub ディレクトリは、~/pub で表現できます。

◎公開用ホームディレクトリ : /home/pub/ユーザ名

※ 公開用ディレクトリへの移動方法としては、ホームディレクトリ(~/)にある pub というリンク(~/pub)に移動するだけで公開用ディレクトリに移動できます。
(/home/ユーザ名/pub ---> /home/pub/ユーザ名)

◆ 1.2. 個人用ページの設置場所(ドキュメントルート)

◎個人用ページの設置場所 :

- ・公開用ホームディレクトリ中の **/home/pub/ユーザ名/WWW/** がコンテンツの設置場所です。

※ 初めて利用する場合は、ドキュメントルートとして **WWW** ディレクトリ(英大文字)を作成してご利用ください。ディレクトリ作成には、後述でご紹介する SCP, SFTP 等のツールに付属するディレクトリ作成機能を利用して作成できます。

- ・ウェブブラウザでは、次のようなURLで参照できるようになります。

http://www.sakura.cc.tsukuba.ac.jp/~ログイン名/

※ ログイン名の前の文字“~”は半角のチルダマーク(波線)です。
URLでのチルダマークの指定は、ウェブサーバでのルール(おまじない)によるものなので、前述のUNIX上での意味とは異なります。

<参考 2> /home/pub/torasan/WWW/index.html は、

http://www.sakura.cc.tsukuba.ac.jp/~torasan/index.html
として参照できます。

なお、index.html は省略できますので、以下のURLでも参照可能です。

http://www.sakura.cc.tsukuba.ac.jp/~torasan/

■ 2. ファイル転送用ツール (SFTP, SCP クライアントソフト) の入手先

汎用サーバ(sakura)では、セキュリティ強化のため、FTP, TELNET での接続は学内からでも禁止となっております。代用ツールとして、SSH(SCP, SFTP) 接続による暗号化経路で通信可能な以下の WinSCP, Cyberduck などの利用をお勧めします。

(その他、Linux サーバや Mac OS X などから直接 SCP, SFTP 接続での利用も可能です。)

Windows 用の便利なツールとして WinSCP があります。

Mac OS X のツールとしては、シェアウェアのものが多いのですが、フリーウェアとしては、CyberDuck などを利用して SFTP 接続できます。

◎Windows 版のツール

- ・ WinSCP (フリーウェア ※ドネーション) ※ 本マニュアルの 2 ページ以降を参照
<http://www.tab2.jp/~winscp/>

◎Mac OS X 版のツール

- ・ Cyberduck (フリーウェア ※ドネーション) ※ 本マニュアルの 8 ページ以降を参照
<http://cyberduck.ch/>

その他、sakura のウェブサーバ利用に関する各種情報は、以下のページをご覧ください。

<http://www.sakura.cc.tsukuba.ac.jp/sakura-www.html>

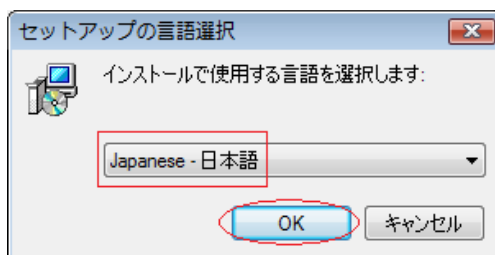
■ 3. コンテンツの更新要領 <WinSCP (Windows 版) の使用例>

ここでは、WinSCP のインストール、および、それを用いたコンテンツ更新の例をご紹介します。

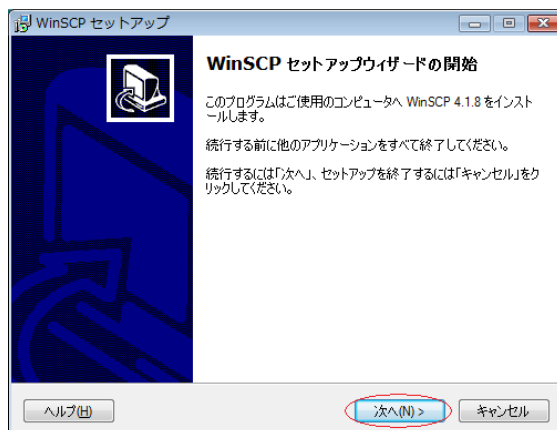
◆例 3.1 WinSCP のインストール

- (3.1.1) ダウンロードした最新の Installation Package [winscp418setup.exe](#) をダブルクリックします。(ここでは、winscp418setup.exe での例をご紹介します。)
※ Portable executable 版をダウンロードしても可

- (3.1.2) 「セットアップの言語選択」では、お好みの言語を選択し [OK] ボタンを押します。



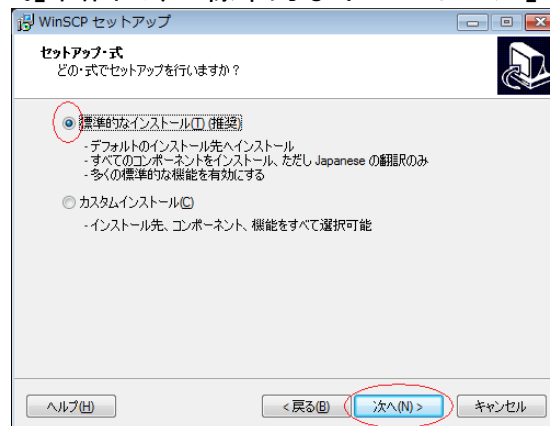
- (3.1.3) 「WinSCP セットアップウィザードの開始」画面が表示されたら、[次へ] ボタンを押す。



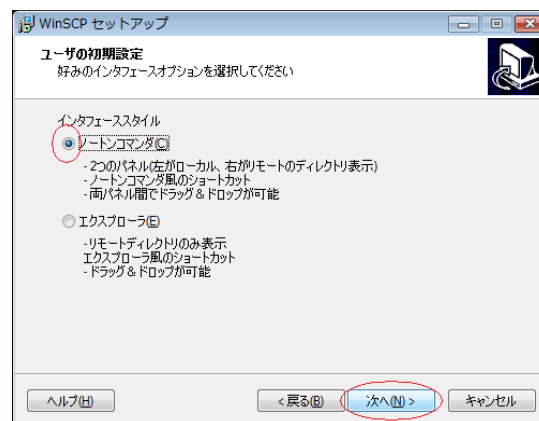
(3.1.4) 「使用許諾契約書の同意」画面の説明を確認して、[次へ]ボタンを押す。



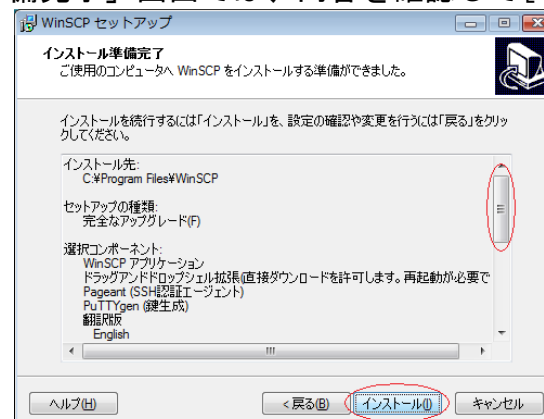
(3.1.5) 「セットアップ方式」画面で、「標準的なインストール」を選択し[次へ]ボタンを押す。



(3.1.6) 「ユーザの初期設定」画面では、好みの表示形式を選択します。
ここでは、「ノートンコマンド」を選択して、[次へ]ボタンを押す。（後で変更可）



(3.1.7) 「インストール準備完了」画面では、内容を確認して[インストール]ボタンを押す。



- (3.1.8) 「WinSCP セットアップウィザードの完了」画面では、[完了]ボタンを押してインストールを終了します。



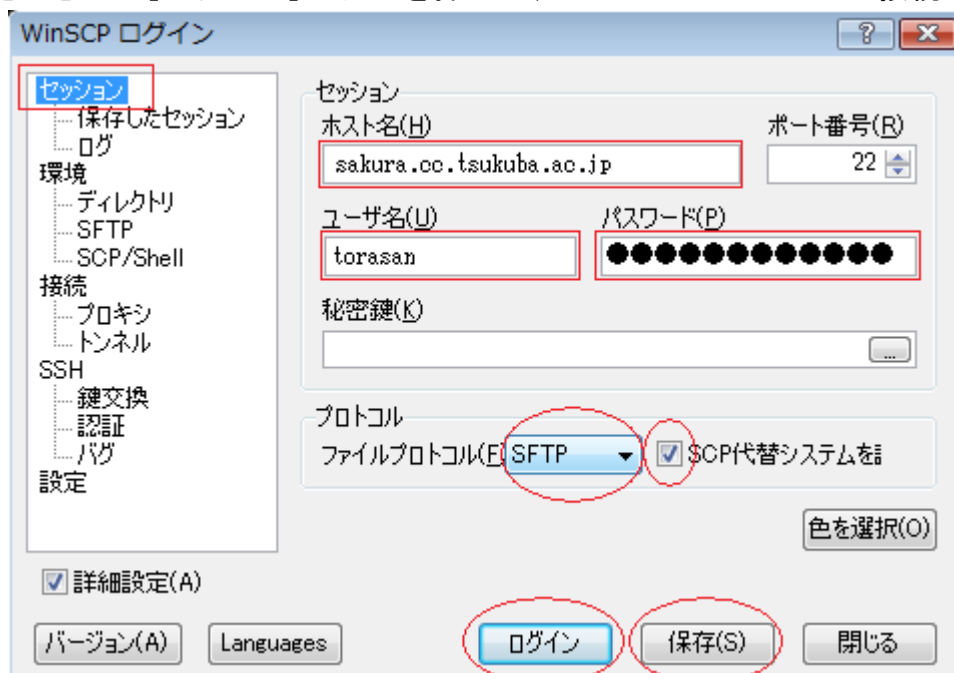
◆例 3.2 WinSCP の起動とファイル転送

- (3.2.1) デスクトップのショートカット  をダブルクリックして FFFTP を起動します。

※ インストールの最後に「WinSCP を起動」にチェックマークを付けた場合は、自動的に WinSCP が起動されますので、そのまま次項のホスト登録をして接続してください。

- (3.2.2) 「WinSCP ログイン」画面では、「セッション」を選択します。

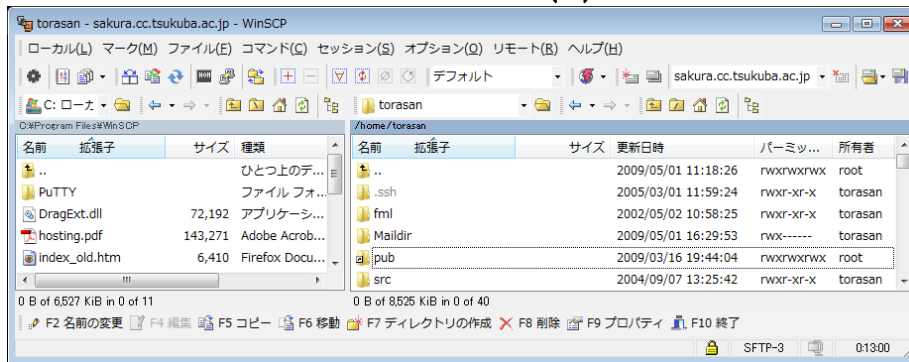
- ・ [ホスト名]欄： sakura.cc.tsukuba.ac.jp のホスト情報を入力します。
- ・ [ユーザ名]欄： 自分のアカウント名を入力します。
- ・ [パスワード]欄： 上記で入力したユーザ名のパスワードを入力します。（省略可）
- ・ [秘密鍵]欄： 無指定で可 ※ 上記のパスワードの代わりに公開鍵認証でログインする場合に指定します。ここでの説明は割愛しますが、詳しくは、こちらをご覧ください。 <http://www.cc.tsukuba.ac.jp/WinSCP/PuTTYgen/>
- ・ [プロトコル]欄： [SCP]または[SFTP]を選択します。[SFTP]を選択した場合は、「SCP 代替システムを…」にチェックマークを付けておきます。
- ・ 初回の接続の際は、設定内容を[保存]ボタンで登録しておく、と、次回の利用時には「保存したセッション」欄からすぐに接続できるので便利です。
- ・ 設定できたら[ログイン]ボタンを押して、sakuraへSFTPモードで接続してみましょう。



(3.2.3) WinSCP を起動すると、前述の(3.1.6)で選択した表示形式のウィンドウが現れます。

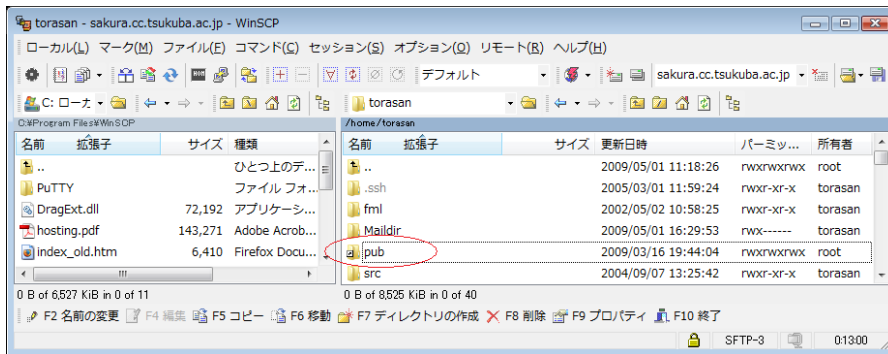
※ ここでは[ノートンコマンド]を選択した例を紹介します。

(左側：パソコン側ローカルウィンドウ) ↔ (右側：サーバ側リモートウィンドウ)

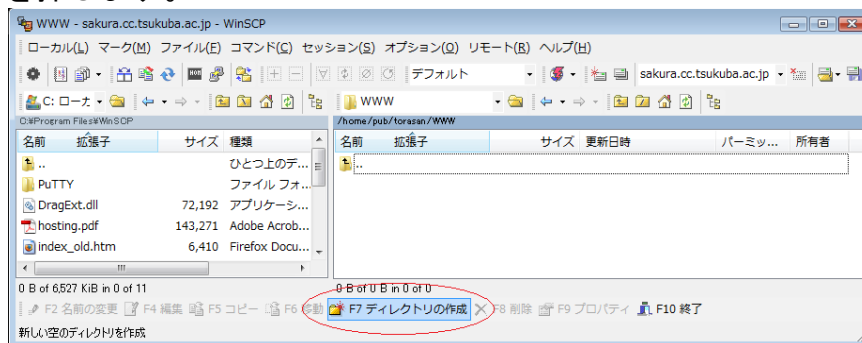


※ ファイル転送の要領は、概ね Windows のフォルダの操作要領と同じです。転送したいファイル等をマウスでドラッグ&ドロップするだけで、アップロード（ダウンロードは逆方向）できます。もちろん、WinSCP の各種ショートカットやメニューバーの各種機能も充実していて便利です。

(3.2.4) 個人用ページを更新する場合は、下図のようにサーバ側ウィンドウで[pub]ディレクトリをダブルクリックして、そのディレクトリの中に移動します。



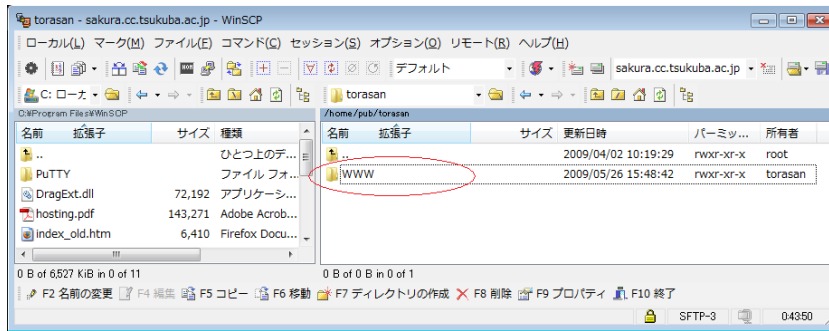
(3.2.5) 初めてウェブページを作成する場合は、最初の一度だけコンテンツの保存場所となる WWWディレクトリを作成する必要があります。下図のように、「ディレクトリの作成」ボタンを押します。



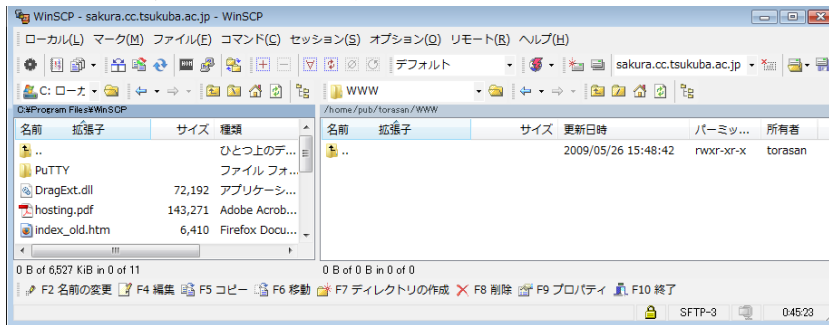
「フォルダの作成」ダイアログが表示されたら、英大文字でWWWと入力して、「OK」ボタンを押します。




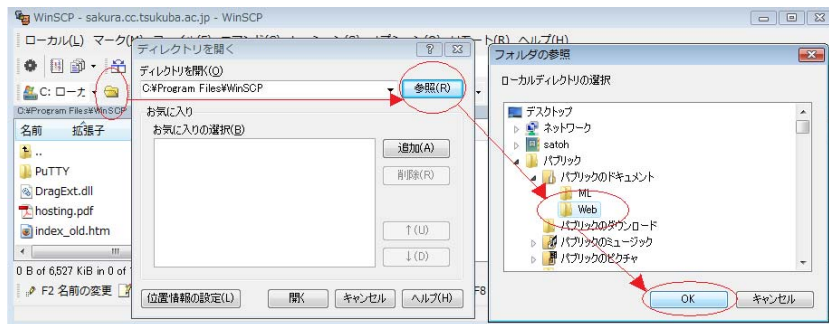
(3.2.6) 作成した[WWW]ディレクトリをダブルクリックして、中に移動します。



(3.2.7) これでサーバ側で表示している場所が、目的のドキュメントルートに移動できました。



(3.2.8) 次に、パソコン側ウィンドウをコンテンツの保存場所まで移動してみます。いくつかの方法がありますが、ここでは[ディレクトリ・お気に入りを開く]というショートカット  をクリックして、「ディレクトリを開く」画面では、[参照]ボタンを押します。「フォルダの参照」画面では、コンテンツの保存場所を選択し、[OK]ボタンを押します。




(3.2.9) 再び「ディレクトリを開く」画面に戻るので、場所を確認して初回時は一度だけ[追加]ボタンを押しておきましょう。登録した「お気に入り」の場所を選択し、[開く]ボタンを押します。(次回以降は、目的の場所に簡単に移動できるので便利です。)

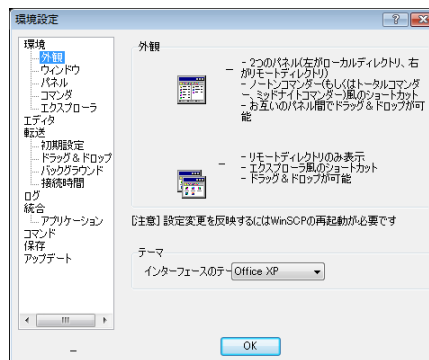


- (3.2.10) これで、パソコンとサーバの両方のウィンドウで目的の場所に移動できました。
 あとは、作成しておいたコンテンツをマウスでドラッグ&ドロップでコピーすれば、簡単にファイル転送ができます。










<参考 3> WinSCP の動作環境の詳細設定について

WinSCP のメニューバーで「オプション」の「環境設定」を選択して設定できます。
 (ショートカット  をダブルクリックしても可)



- <参考 4> WinSCP には、便利な機能・ショートカットが各種用意されております。
 ご興味があれば、メニューバーの「ヘルプ」などをご覧ください。

※ 誤操作による削除などの対策として、コンテンツのバックアップは忘れなく！


-  : 「ディレクトリの比較」
-  : 「ミラーリングアップロード」
-  : 「ディレクトリの同期移動」
-  : 「ローカルとリモートのディレクトリのファイルを同期させる」
-  : 「表示内容の更新」
-  : 「コンソールを開く」
-  : 「一つ上へ」

■ 4. コンテンツの更新要領 <CyberDuck (Mac 版) の使用例>

CyberDuck のインストール、および、それを用いたコンテンツ更新の例をご紹介します。


◎ダウンロード先：<http://cyberduck.ch/>

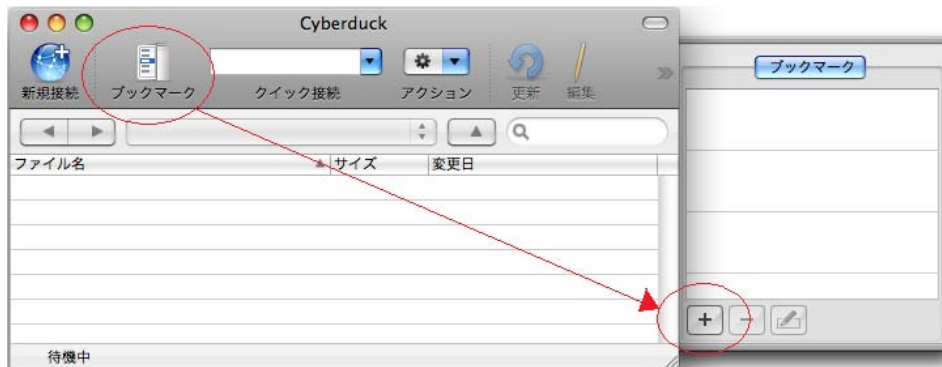
◆例 4.1 CyberDuck のインストール

- (4.1.1) ダウンロードした最新版の CyberDuck のディスクイメージ  をダブルクリックすれば、自動的に展開されてインストールはすぐに完了します。ハードディスク内にフォルダが作成され以下のようなデータがインストールされます。

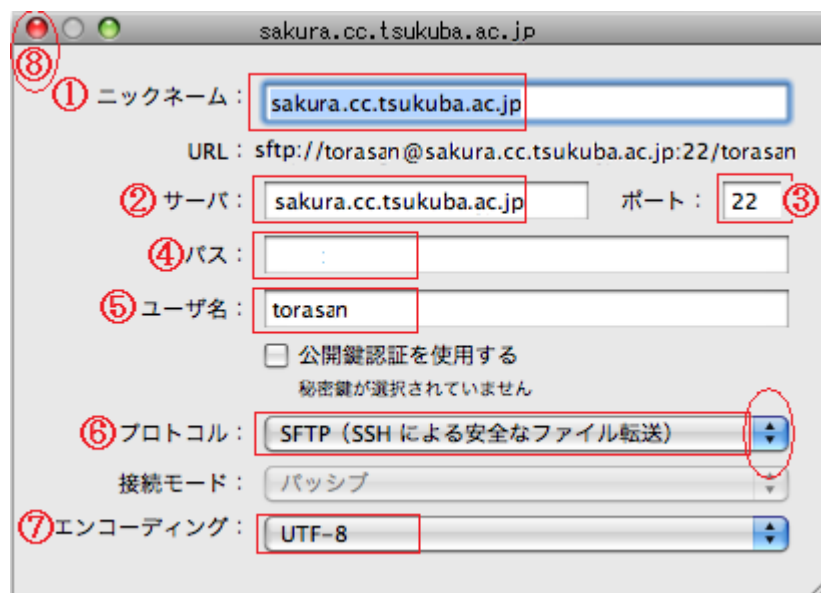



◆例 4.2 CyberDuck の起動とファイル転送

- (4.2.1) デスクトップなどにもショートカット  が作成されますので、それをダブルクリックして起動します。
- (4.2.2) CyberDuck のウィンドウが表示されたら、[ブックマーク] ボタンを押してサーバに SFTP 接続してみましょう。

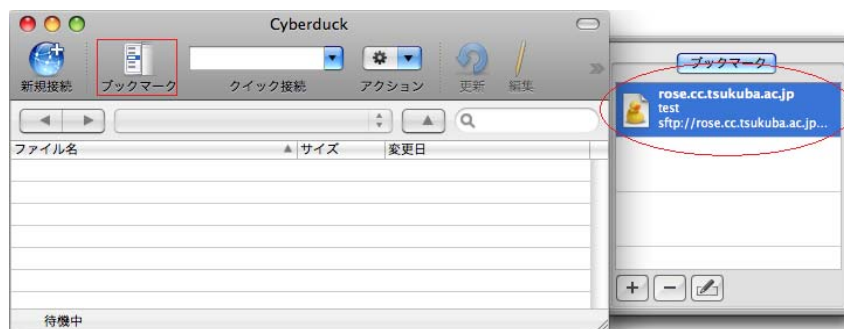


- (4.2.3) ホスト情報の登録画面では、以下の例を参考にご利用中のサーバ情報を入力します。



- ① ニックネーム欄では、任意の設定名を入力
- ② 「サーバ」欄では、sakura.cc.tsukuba.ac.jp を入力
- ③ ポート番号は、22 のまま
- ④ パス欄は、省略可（省略時は、ホームディレクトリが初期画面として表示されます。）
（公開用ホームディレクトリの場所を指定する場合は /home/pub/ユーザー名 ）
（個人用ドキュメントルートは /home/pub/ユーザー名/WWW ） ※要ディレクトリ作成
- ⑤ 自分のユーザ名を入力
- ⑥ 「SFTP(SSH による安全なファイル転送)」をプルダウンメニューで選択
- ⑦ エンコーディング欄では、Mac の場合は UTF-8 を選択。（必要に応じて変更可）
- ⑧ 最後に左上の赤丸ボタンで設定をブックマークに保存してウィンドウを閉じる。

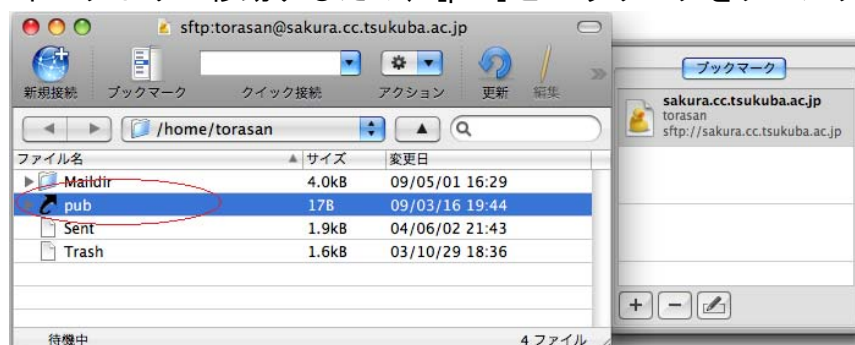
(4.2.4) それでは実際に SFTP 接続してみましょう。登録したブックマークをダブルクリックします。なお、次回の CyberDuck 起動時には、[ブックマーク]ボタンをクリックすると設定済みの一覧が横にスライドして出てきます。それを起動してすぐに接続できます。




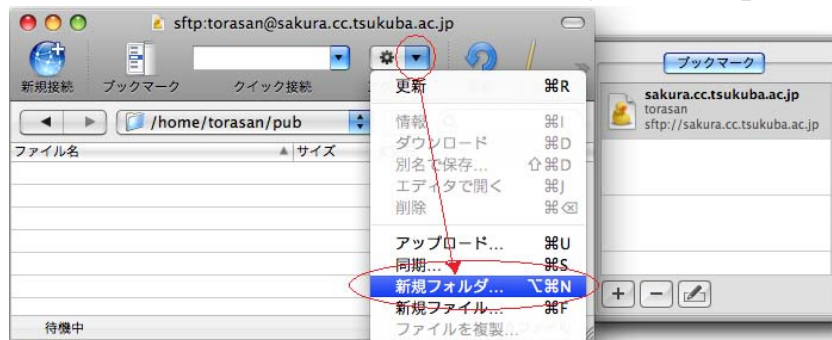
(4.2.5) パスワードを入力します。「キーチェーンに追加する」にチェックマークをつけると次回からの接続時にパスワード入力を省略できて便利です。ただし、複数人が使用する共有端末などでは、他人に悪用される危険性もあるのでお勧めできません。パスワードの取扱いにご注意ください。



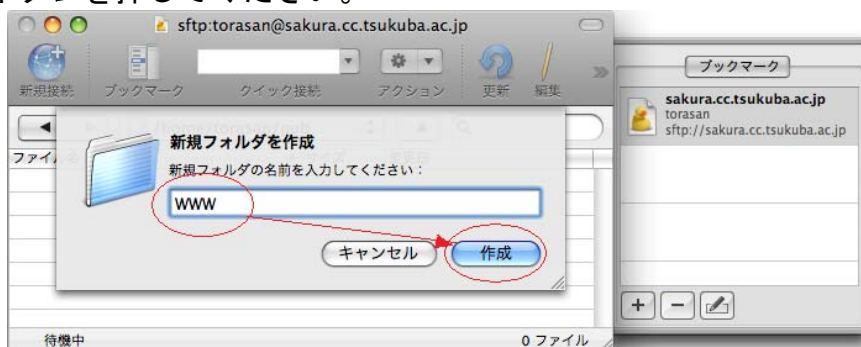
(4.2.6) 入力した情報が正しければ、下図のようにサーバに SFTP 接続されます。上記③でパス名の指定を省略した場合は、以下のような画面が表示されます。公開用ディレクトリに移動するため、[pub]というリンクをダブルクリックします。



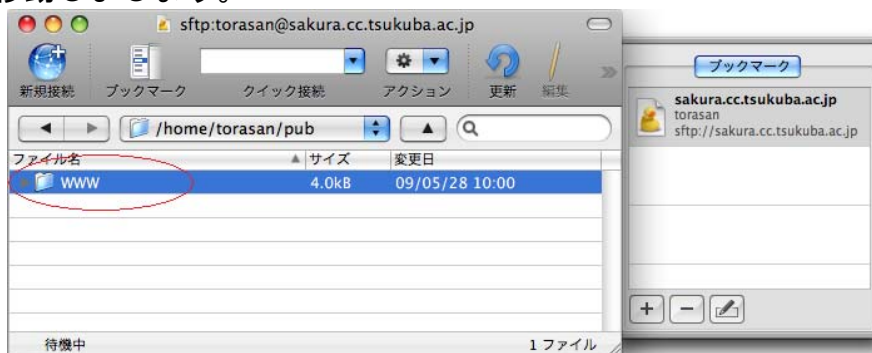
- (4.2.7) 初めてウェブサーバを利用する場合は、自分のアカウント用ドキュメントルートを初回の一度だけディレクトリを作成しておく必要があります。必要に応じて、以下のようにアクション  のプルダウンメニューから「新規フォルダ」を選択してください。



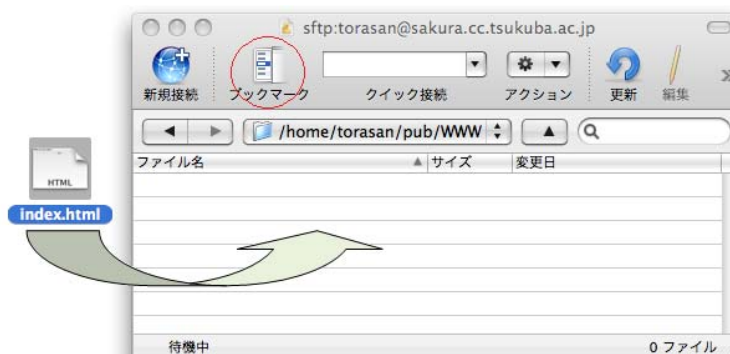
下図のような画面が表示されたら、英大文字でWWWというディレクトリを入力して「作成」ボタンを押してください。



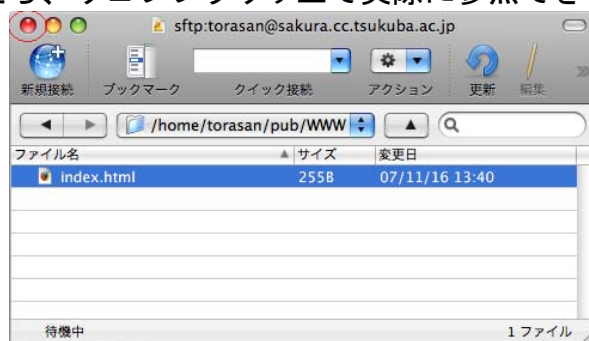
- (4.2.8) WWW ディレクトリが作成されました。早速、このディレクトリをダブルクリックして中に移動しましょう。



- (4.2.9) ドキュメントルートである/home/ユーザ名/pub/WWWに移動できたので、あとは、用意しておいたコンテンツをマウスでドラッグ&ドロップするだけでアップロードができます。（※ダウンロードは逆向きの操作で可）




(4.2.10) アップロードしたコンテンツ (/home/ユーザ名/pub/WWW/index.html) を Cyberduck 上で確認できれば、ウェブブラウザ上で実際に参照できるか確認してみましょう。

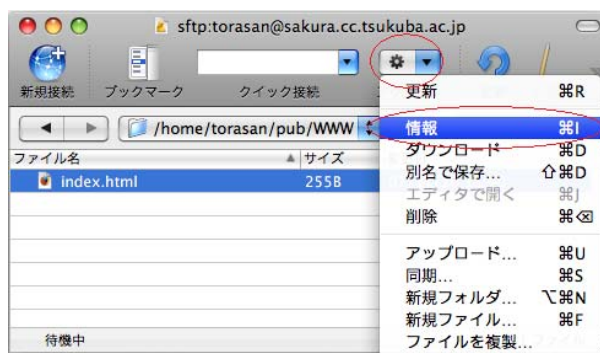


次のようなURLで参照できるはずですが、

http://www.sakura.cc.tsukuba.ac.jp/~ユーザ名/

<参考 5> CyberDuck でファイルのアクセス権の修正要領 :

アクション  のプルダウンメニューから「情報」を選択します。

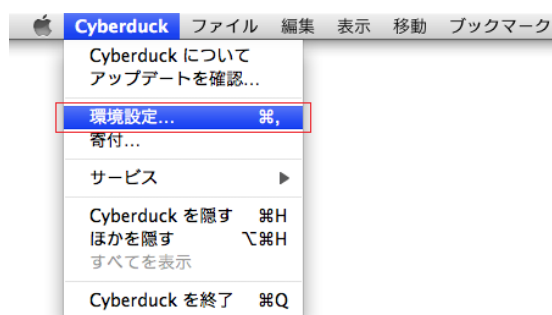


下図のように、[オーナー(所有者)、グループ、その他] について個々のアクセス権の設定ができます。

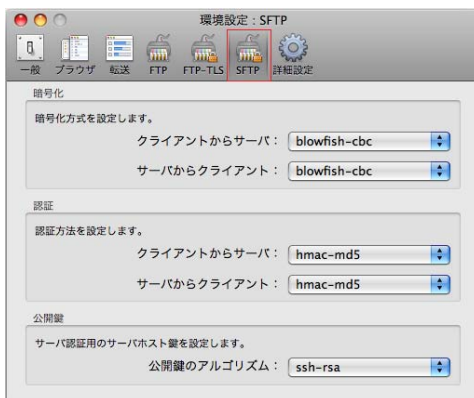


<参考 6> CyberDuck の環境設定 :

メニューバーの「CyberDuck」で「環境設定」を選択します。



環境設定では、各種サービスの設定変更などができます。



※ その他の便利な機能もあるようです。詳しくは、ヘルプなどをご覧ください。